

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 山本

山名	霊仙山		山行名	例会山行
ルート	今畑登山口→笹峠→近江展望台→霊仙山→経塚山→汗ふき峠→落合区駐車場			
山行日	2024年10月27日(日)		天候	晴れ時々曇り
参加者	リーダー：山本 男性：木田・佐々木 女性：森田・高橋・蒲田・多田・田中み・鳥山	サブリーダー：岡本		合計：10名

ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時:分	地名		時:分
	今畑登山口	集	8:07	経塚山	着	12:27
		発	8:09		発	12:38
	笹峠	着	9:03	汗ふき峠	着	13:54
		発	9:07		発	14:03
	近江展望台	着	10:20	落合区 駐車場	着	14:39
		発	10:27		発	
	霊仙山 最 高点	着	11:49		着	
		発	11:59		発	
霊仙山	着	12:04		着		
	発	12:17		発		

山行報告 コースタイム 06:32 距離 10.1 km のぼり 909m くだり 902m

山友会入会後初めてのCL担当で山選びにコース決め、案内作成から交通費計算含む庶務関係にあたふたし、数日前から各サイトの天気予報に振り回されたものの、晴れ男・晴れ女の力を信じ当日の決行を決めました。現地駐車場まで2度も高速の乗り間違え(人生初)、前途多難を予感しつつもほぼ予定通りに到着。少し湿った足元の急登スタートではあったが、特に遅れる方もなく進めました。笹峠を過ぎた辺りから隊列の変更があったりもしたこと、もともと先頭であった当方がコース確認を怠り、先を行く先輩の後に続いたことで本来のコースから少し外れてしまった。正コースとは並行して進んでいたため道迷いではなかったものの、そこは鹿道だったようで、かなり足元も滑りやすく皆さんには相当の注意をはらうような気疲れをさせてしまい猛省。途中で正コースに戻り、カルストの石間を歩くことで一件落着。その頃からガスが出たり晴れたりしましたが晴れた時のカルスト台地と少し赤みがついた山々と青空の景観には皆、声が出たほどでした。霊仙山山頂までは特に石の上を歩くコースが続き、その足元を苦手とする方がいたりもしましたが、バランスを取りながら全員無事山頂へ。山頂では雲の合間から伊吹山も望めたが、やはり晴天での眺望がよかったなあ。そこから一度下ってから経塚山への足取りは少し心が折れかけましたが、天気が悪くなる前にと頑張りました。経塚山からの下り前半は歩きやすい道なり、汗ふき峠前後はロープが多かったりぬかるんでいたりとしんどいなりにも楽しいコースでした。石の上歩きと最高の眺望、花の百名山を堪能したく再度訪れたい山でした。

また、ふつつかなCLにご協力いただいた皆さんに感謝しています。

ヒヤリハット なし

視界 360 度の尾根歩き ユニークな石灰岩のカルスト地形

佐々木

鈴鹿山脈の北端「霊仙」は奈良時代に霊仙三蔵が開基した霊仙寺があったのが名前の由来。花の山としても知られ春のフクジュソウが有名、今回は紫色のトリカブト、キキョウを愛でることができました。

定刻の 6:00am に新田辺駅前集合・出発、参加者の平均年齢は私(79)を除くと 61.8、そして名ドライバーの木田さん以外の 8 人は全員女性、私にとっては娘の世代の初々しさ、おじいさんを置いてきぼりにするのはと戦々恐々。日本のジェンダー・ギャップ指数は世界の 146 か国中 118 位だが、こと京田辺山友会に関しては女性の天下、男の肩身は狭く小さくなっていく。

名神高速道路を北上、運転技術では右に出る者がいない山本リーダー、「弘法にも筆の誤り」で二度も別方向の高速に入り、笑いと話題の特別提供。8:00am に落合地区から急登を開始。途中からはカモシカ専用の急峻な岩場が果てしなく続き、眼下には三途の川、これほどまでに危険な難路は久しぶり。過去に数回登り、霊仙は簡単な山だと高を括っていたのに、想定外の展開に命懸けの緊張状態が続く。やっとのことで一般ルートに戻った時には疲労困憊、ご褒美は視界を遮るもののない絶景。今日は晴れたり曇ったり、もう 10 月末だが T シャツ姿で汗もかかず最高の登山日和。平坦な稜線歩きでは琵琶湖、鈴鹿の山並みが指呼の間、足元には緑鮮やかなスギゴケの群落、「スッバラシイ!!」との感嘆の叫び声がこだまする。娘さんたちはみんなメチャ元気、滑ったり転んだりと子供のようにしゃぎながらの下り、予定よりかなり早い 14:40 に駐車場に到着。山本リーダーの運転技術、統率手腕、木田さんの素晴らしいルートファインディングに感謝、笑いの絶えない愉快な一日を過ごさせていただきました。

鳥山

前日から雨が心配されましたが、全行程で雨には合わずに良かったです。今畑登山口から登って、いきなり急登ではあったが笹峠に向けて登る。だんだん岩道が多くなり石灰石がゴロゴロと。私は岩場に苦手意識があるのでちょっと怖い箇所があったが解放感が素晴らしい。お昼休憩中はガスが出たり少し寒さを感じるが歩き始めるとまた汗が出てちょうどいい気候と晴天ではなかったが雨のなく、足元も良かった。山頂近くになると広々とした丘陵が広がり霊仙山や径塚山山頂を歩く人々が見える。山頂からはうっすら伊吹山が見える。CL、SL の方、そしてご同行の皆さまありがとうございました。



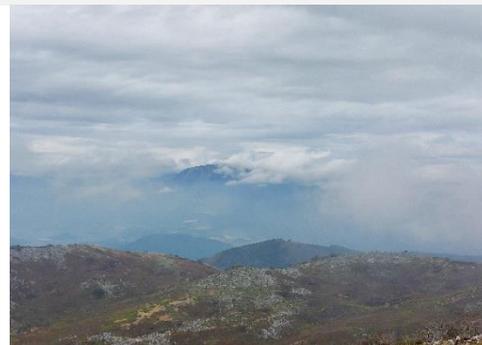
近江展望台



カルスト台地



霊仙山山頂にて



霊仙山山頂より伊吹山